

# 町政



細田 栄

## どうなる公共施設 十八年度初当から指定管理者

**細田** 指定管理者の公募にあたって、植田正治写真美術館や鬼っ子ランドなどは事前に町が管理運営方針の見直しをする必要があるのではないか。

既に指定管理者が定めてある「大山望」と堆肥セ

ンターについても現行の運営方法で問題はないか。

**町長** 写真美術館の閉館は考えていないが、指摘のあった施設の管理運営については見直しをした

### 責任者は同一人？

**細田** 指定管理者に応募が見込まれる、伯耆町地域振興（株）、観光事業団農業開発公社などの社長や理事長に町長が就任しているが、指定管理者に応募する者と決定する者が同一人では公平を欠くのではないか。

**町長** 選定委員会を設置して公正に選定する。町の特別職の役員就任は外郭団体の見直しで検討したい。

### あの問題はとうなった

**細田** 今年中に議会で質問したことが平成十八年度にどのように反映されるか。

①障害者、要介護者のための外出支援事業の利

用料引き下げ及び利用しやすい事業への改善について。

②人間ドックの六十歳以上への年齢拡大と五歳毎の見直しについて。

③総合相談センターの設置について。

と制度の改革をする予定。

②人間ドックは六十歳以上も対象とするよう検討する。

③総合相談センターについては、介護保険の地域包括支援センターの支部を置くことになると今後、福祉サービスの拠点となるよう検討したい。

### 町内事業者への優先発注

**細田** 地場産業振興の観点から少額の工事や物品購入、印刷業務などの発注については町内事業所に優先発注できないか。

**町長** 建設工事、業務委託の金額により指名業者の数を決めている。

少額なものについては、特別なものを除き町内事業者を優先して指名している。

### 総合計画が最優先

**細田** 総合計画は、伯耆町行政の基本方針を定めるものであり、地方自治法でも総合計画は議会の議決を経て定めると明記されている。最重要の総合計画が策定されないまま新年度予算が編成されることについて問題がないのか。

**町長** 基本的には合併まちづくり計画に基づいて平成十八年度の予算編成を行っている。総合計画の策定は緊急課題として取り組んでおり、今議会中に素案を提出し十八年年三月に議決を求める予定である。



樹水高原スキーリフト